

隠岐ユネスコ世界ジオパーク学術研究奨励事業 審査規程

1. 目的

- ① 一般社団法人隠岐ジオパーク推進機構（以下「推進機構」という。）では、隠岐ユネスコ世界ジオパークの人文・社会科学および自然科学にかかわる調査研究活動を支援し、ジオパーク活動の活性化及び持続可能な地域社会の形成に資することを目的として「隠岐ユネスコ世界ジオパーク学術研究奨励事業（以下「奨励事業」という。）」を実施する。
- ② この規程では、奨励事業の採択者を選定するための審査について、必要な事項を定める。

2. 審査員及び審査方法

- ① 審査員は、推進機構があらかじめ依頼した、推進機構の教育・環境部会員2名、隠岐島内の自然または歴史文化に精通した者3名及び推進機構業務執行理事の計6名で行う。
- ② 審査会長は審査員の互選により決定とする。
- ③ 審査は、書面審査および合議審査からなる。
- ④ 書面審査は、下記3の内容で実施する。
- ⑤ 合議審査では、書面審査による評点をもとに、審査員の合議によって、採択および不採択を決定する。
- ⑥ 審査会長は、合議審査における進行を行うとともに、審査員の合議が整わない場合に採択および不採択を決定する。

3. 書面審査

<新規>

〔評点要素〕

応募内容が助成に値する内容であるかを下記の項目に着目して評価を行う。

- ① 研究課題の学術的重要性
 - ・ 隠岐ユネスコ世界ジオパークの科学的な価値を高める内容であるか。
 - ・ 当該研究の遂行によって、ジオパークの活動の活性化及び持続可能な地域社会の形成につながる内容であるか
 - ・ 研究課題の核心をなす学術的な問いは明確であり、学術的独自性や創造性は認められるか。
- ② 研究方法の妥当性
 - ・ 研究目的を達成するため、研究方法は具体的かつ適切であるか。
 - ・ 研究経費は研究計画と整合性が取れたものになっているか。

③ 研究スケジュールの妥当性

- ・ 研究目的を達成するため、研究のスケジュールは適切であるか。
- ・ 期日まで実績報告の提出ができる内容であるか。

[評点]

上記①～③の評定要素について 100 点満点として下表の割合で評定する。

評定要素	評点割合
研究課題の学術的重要性	60 満点
研究方法の妥当性	30 満点
研究スケジュールの妥当性	10 満点

[審査意見の記入]

審査員は、すべての研究課題について、当該研究課題の長所と短所を中心とした審査意見を必ず記入すること。なお審査意見は合議審査において、議論を深めるための資料として提示する。

[オンライン面談]

書面審査の実施時に、応募内容に関して確認したい旨の要望が審査員からあった場合は、当該応募者に対して合議審査時に 30 分程度のオンライン面談を原則として実施する。

<継続>

[評点要素]

応募内容が助成に値する内容であるかを下記の項目に着目して評価を行う。

① 研究課題の学術的重要性

- ・ 当該研究を継続することによって、隠岐ユネスコ世界ジオパークの科学的な価値を高める内容であるか。
- ・ 当該研究を継続することによって、ジオパークの活動の活性化及び持続可能な地域社会の形成につながる内容であるか

② 研究方法の妥当性

- ・ 研究目的を達成するため、研究方法は具体的かつ適切であるか。
- ・ 研究経費は研究計画と整合性が取れたものになっているか。

③ 研究スケジュールの妥当性

- ・ 研究目的を達成するため、研究のスケジュールは適切であるか。

- ・ 期日まで実績報告の提出ができる内容であるか。

[評点]

上記①～③の評定要素について 100 点満点として下表の割合で評定する。

評定要素	評点割合
研究課題の学術的重要性	60 満点
研究方法の妥当性	30 満点
研究スケジュールの妥当性	10 満点

[審査意見の記入]

審査員は、すべての研究課題について、当該研究課題の長所と短所を中心とした審査意見を必ず記入すること。なお審査意見は合議審査において、議論を深めるための資料として提示する。

[オンライン面談]

書面審査の実施時に、応募内容に関して確認したい旨の要望が審査員からあった場合は、当該応募者に対して合議審査時に 30 分程度のオンライン面談を原則として実施する。

4. 採択結果の通知および評価結果の開示

採択および不採択の結果については、応募者全てに通知する。

また、研究代表者が希望した場合には、各審査員の審査結果が特定されないように配慮した上で、審査員の所見を開示する。